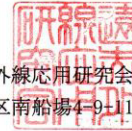


試験結果報告書

No.216S-797

平成28年11月2日

株式会社 ワーセラ 殿



遠赤外線応用研究会

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-111

試験項目 Bhado マクラクサア使用による生体抗酸化向上効果を確認するため、使用前を対照として、比較検証する。

試料 Bhado マクラクサア

測定条件 1) 測定日時 平成28年10月31日
2) 測定環境 室温23℃ 湿度43%
3) 測定機器 (株)リブアンドラブ社製 唾液酸化還元測定器

試験方法 健康な男性モデル(63才)を被験者とし、測定環境に20分間生体を慣らした後、使用前の酸化還元電位を唾液により測定した。次に、枕の上にBhadoマクラクサアを置き、さらに薄いハンカチを掛けた状態で30分使用後の酸化還元電位を、同様に唾液により測定した。

試験結果

生体酸化還元電位測定値

	使用前	使用30分後	低減値
Bhado マクラクサア	+85	+76	-9

(単位:mV)

考察 生体の健康度を示す目安の一つである酸化還元電位は、Bhado マクラクサア使用で使用前に比べて9低減した。このことより、Bhado マクラクサアを長期にわたって使用することで、生体の健康度の目安の一つである酸化還元電位がさらに低減されることが示唆された。つまり、生体の抗酸化力が向上することが示唆された。なお、測定は各3回ずつ実施し、その平均値とした。

以上